



平成25年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成25年2月6日

上場会社名 日本新薬株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 4516 URL <http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 重信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務部長 (氏名) 櫻井 太郎

TEL 075-321-9114

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向けカンファレンスコール)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

売上高 営業利益 経常利益 四半期純利益

百万円 % 百万円 % 百万円 % 百万円 %

25年3月期第3四半期 51,514 2.2 5,361 3.1 5,698 6.8 3,557 15.5

24年3月期第3四半期 50,423 7.4 5,200 31.4 5,336 25.5 3,081 1.4

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 3,458百万円 (40.1%) 24年3月期第3四半期 2,467百万円 (15.1%)

1株当たり四半期純利益 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

円 銭 円 銭

25年3月期第3四半期 52.72 —

24年3月期第3四半期 45.65 —

(2) 連結財政状態

総資産 純資産 自己資本比率 1株当たり純資産

百万円 百万円 % 円 銭

25年3月期第3四半期 107,687 86,655 80.3 1,281.22

24年3月期 106,304 84,566 79.4 1,250.11

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 86,456百万円 24年3月期 84,374百万円

2. 配当の状況

年間配当金

第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計

円 銭 円 銭 円 銭 円 銭 円 銭

24年3月期 — 9.00 — 10.00 19.00

25年3月期 — 10.00 — — —

25年3月期(予想) — — — 11.00 21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

売上高 営業利益 経常利益 当期純利益 1株当たり当期純利益

百万円 % 百万円 % 百万円 % 百万円 % 円 銭

通期 69,400 3.1 6,600 9.8 6,800 9.8 4,300 15.7 63.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	70,251,484 株	24年3月期	70,251,484 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,771,611 株	24年3月期	2,757,573 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	67,487,857 株	24年3月期3Q	67,504,317 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、カンファレンスコード(電話会議)による機関投資家・アナリスト向け決算説明会を平成25年2月6日17時より開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表と同時にTDnet及び当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	9
(1) 主力製品売上高	9
(2) 製品開発状況	10
(3) 製品開発状況・補足資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は515億1千4百万円と対前年同期比2.2%の増収、営業利益は53億6千1百万円と対前年同期比3.1%の増益、経常利益は56億9千8百万円と対前年同期比6.8%の増益、四半期純利益は35億5千7百万円と対前年同期比15.5%の増益となりました。

医薬品事業では、非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤「ハイペン」、前立腺肥大症治療剤「エビプロスター」等の売上が競合品や後発品の影響等により減少しましたが、骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ」、月経困難症治療剤「ルナベル」の売上が大きく伸長、肺動脈性肺高血圧症治療剤「アドシルカ」、アレルギー性鼻炎治療剤「エリザス」等の売上も伸長しました。その結果、売上高は426億6千8百万円と対前年同期比2.9%の増収となりました。

機能食品事業では、加工食品業界、健康食品業界とも厳しい状況が続く中、品質安定保存剤の売上は伸長し、ニュートリション素材は堅調に推移しましたが、健康食品素材およびたん白製剤は減少しました。その結果、売上高は88億4千5百万円と対前年同期比1.2%の減収となりました。

[研究開発の状況]

国内では、アルコール依存症患者における断酒維持の補助剤「NS-11（一般名：アカンプロサートカルシウム）」について、平成24年3月に承認申請を行いました。非麻薬性鎮痛剤「NS-315（一般名：トラマドール塩酸塩）」は、非がん性慢性疼痛への効能追加について、平成24年9月に承認申請を行いました。日本イーライリリー株式会社から導入した「LY450190（一般名：タダラフィル）」については、同社が、前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤として第三相試験を実施中です。経口持続性鎮痛剤「NS-24（一般名：トラマドール塩酸塩）」については、平成24年4月にがん疼痛および非がん性慢性疼痛を対象とした第三相試験を開始しました。肺動脈性肺高血圧症治療剤「ACT-064992（一般名：マシテンタン）」については、平成24年10月にアクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で第三相試験を開始しました。非ホジキンリンパ腫治療剤「GA101（一般名：obinutuzumab）」については、平成24年11月に中外製薬株式会社と共同開発・共同販売契約を締結し、低悪性度・中高悪性度非ホジキンリンパ腫を対象とした第三相試験（国際共同治験）の共同開発を開始しました。肺高血圧症治療剤「NS-304（一般名：セレキシパグ）」については、アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で、肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象とした第二相試験を実施中です。抗そう痒剤「NS-141」については、第二相の探索的試験を終了し、次試験に向けて準備中です。

海外では、合成抗菌剤「ブルリフロキサシン」について、中国において導出先のリーズ・ファーマ社（香港）が第三相試験を準備中です。「NS-304」については、導出先のアクテリオン ファーマシューティカルズ社（イス）が肺動脈性肺高血圧症を対象とした第三相試験を実施中です。チロシンキナーゼ阻害剤「NS-187（一般名：バフェチニブ）」については、米国において導出先のサイトレックス社（米国）がB細胞性慢性リンパ性白血病を対象とした第二相試験を実施中です。骨髄線維症治療剤「NS-018」については、米国において第一/二相試験を実施中です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、1,076億8千7百万円と前連結会計年度末に比べ13億8千3百万円の増加となりました。流動資産は、現金及び預金等が減少しましたが、受取手形及び売掛金、たな卸資産等が増加し、681億9千1百万円と前連結会計年度末に比べ18億5千8百万円の増加、固定資産は、有形固定資産、投資その他の資産が減少し、394億9千6百万円と前連結会計年度末に比べ4億7千5百万円の減少となりました。

負債は、支払手形及び買掛金等が増加しましたが、賞与引当金等が減少し、210億3千2百万円と前連結会計年度末に比べ7億5百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により、866億5千5百万円と前連結会計年度末に比べ20億8千8百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、概ね計画に沿って推移しており、連結業績予想につきましては、平成24年11月6日の第2四半期決算公表時より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,387	11,232
受取手形及び売掛金	31,988	32,428
有価証券	7,599	8,099
商品及び製品	6,843	8,536
半製品	1,247	1,185
仕掛品	189	271
原材料及び貯蔵品	3,644	3,836
繰延税金資産	1,635	894
その他	796	1,708
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	66,333	68,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,629	7,429
土地	8,030	7,889
その他（純額）	2,175	1,989
有形固定資産合計	17,835	17,308
無形固定資産	566	636
投資その他の資産		
投資有価証券	11,170	11,042
繰延税金資産	199	283
長期前払費用	8,111	8,076
その他	2,123	2,171
貸倒引当金	△37	△23
投資その他の資産合計	21,568	21,551
固定資産合計	39,971	39,496
資産合計	106,304	107,687

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,019	6,343
未払金	3,104	2,887
未払法人税等	1,294	383
賞与引当金	2,366	1,185
その他	2,177	2,431
流動負債合計	13,961	13,231
固定負債		
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	7,357	7,408
その他	418	392
固定負債合計	7,776	7,801
負債合計	21,738	21,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,445	4,445
利益剰余金	73,541	75,749
自己株式	△2,075	△2,089
株主資本合計	81,085	83,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,328	3,215
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	△41	△41
その他の包括利益累計額合計	3,289	3,176
少数株主持分	191	198
純資産合計	84,566	86,655
負債純資産合計	106,304	107,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	50,423	51,514
売上原価	24,152	25,471
売上総利益	26,271	26,043
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	6,103	6,118
賞与引当金繰入額	772	773
販売促進費	777	737
退職給付引当金繰入額	799	792
減価償却費	278	242
研究開発費	6,855	6,411
その他	5,484	5,604
販売費及び一般管理費合計	21,070	20,681
営業利益	5,200	5,361
営業外収益		
受取利息	21	21
受取配当金	256	254
受取賃貸料	253	258
その他	93	180
営業外収益合計	624	714
営業外費用		
支払利息	6	5
寄付金	125	113
投資有価証券売却損	119	—
為替差損	42	29
賃貸費用	84	76
その他	109	152
営業外費用合計	488	378
経常利益	5,336	5,698
税金等調整前四半期純利益	5,336	5,698
法人税、住民税及び事業税	1,353	1,454
法人税等調整額	886	672
法人税等合計	2,239	2,127
少数株主損益調整前四半期純利益	3,097	3,570
少数株主利益	16	12
四半期純利益	3,081	3,557

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,097	3,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△620	△113
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	△5	△0
その他の包括利益合計	△629	△112
四半期包括利益	2,467	3,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,451	3,445
少数株主に係る四半期包括利益	16	12

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	41,473	8,950	50,423	—	50,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,473	8,950	50,423	—	50,423
セグメント利益	4,864	335	5,200	—	5,200

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	42,668	8,845	51,514	—	51,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	42,668	8,845	51,514	—	51,514
セグメント利益	5,171	190	5,361	—	5,361

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 主力製品売上高

(単位:百万円)

製品名	薬効	第3四半期累計				通期	
		H24年3月期	H25年3月期	前年同期増減率	進捗率	H24年3月期	H25年3月期(予)
ビダーザ	骨髄異形成症候群治療剤	3,262	5,274	61.7%	73.3%	4,577	7,200
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	4,588	3,982	△ 13.2%	76.6%	5,931	5,200
ルナベル	月経困難症治療剤	2,836	3,739	31.8%	83.1%	3,752	4,500
ガスロンN	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	3,734	3,646	△ 2.4%	76.0%	4,879	4,800
ハイペン	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	3,445	2,640	△ 23.4%	75.5%	4,367	3,500
シリス	勃起不全(ED)治療剤	2,299	2,600	13.1%	78.8%	3,043	3,300
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	1,880	1,904	1.3%	76.2%	2,553	2,500
セファドール	抗めまい剤	2,035	1,825	△ 10.3%	76.1%	2,609	2,400
キロサイド	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	1,822	1,809	△ 0.7%	78.7%	2,332	2,300
プラダロン	頻尿治療剤	1,957	1,666	△ 14.9%	79.4%	2,518	2,100
エストラサイト	前立腺癌治療剤	1,886	1,637	△ 13.2%	78.0%	2,397	2,100
セレクトール	血管拡張性β1遮断薬	1,939	1,597	△ 17.6%	76.1%	2,465	2,100
アドシルカ	肺動脈性肺高血圧症治療剤	814	1,424	74.9%	75.0%	1,126	1,900
バイナス	アレルギー性鼻炎治療剤	1,282	1,109	△ 13.5%	48.2%	2,225	2,300
エリザス	アレルギー性鼻炎治療剤	305	777	154.5%	38.9%	726	2,000
リボスチン	アレルギー性鼻炎治療剤 アレルギー性結膜炎治療剤	411	425	3.2%	28.3%	1,284	1,500
工業所有権等収益		92	94	2.5%	94.7%	116	100
フルリフロキサシン原薬		642	507	△ 21.1%	72.4%	1,209	700
医薬品 計		41,473	42,668	2.9%	74.1%	55,746	57,600
機能食品 計		8,950	8,845	△ 1.2%	75.0%	11,558	11,800
売上高		50,423	51,514	2.2%	74.2%	67,304	69,400

(2) 製品開発状況

<国内開発状況>

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
申請中	NS-11 (アカンブロサートカルシウム)	その他	アルコール依存症患者における断酒維持の補助	導入： メルクセロー社(スイス)	自社
申請中	NS-315 (トラマトール塩酸塩)	その他	非がん性慢性疼痛	導入： グリュネンタール社(独)	自社
P III	LY450190 (タダラフィル)	泌尿器系	前立腺肥大症 に伴う排尿障害	導入： 日本イーライリー	日本イーライリー
P III	NS-24 (トラマトール塩酸塩)	その他	がん疼痛 非がん性慢性疼痛	導入： パラティン社(カナダ)	自社
P III	ACT-064992 (マジンタン)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	導入： アクテリオン社(スイス)	共同： アクテリオン・ゾーヤパン
P III	GA101 (obinutuzumab)	血液がん	低悪性度非ホジキンリンパ腫 中高悪性度非ホジキンリンパ腫	導入： 中外製薬	共同： 中外製薬
P II	NS-304 (セレキシパグ)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	共同： アクテリオン・ゾーヤパン
P II	NS-141	炎症・ アレルギー系	皮膚疾患に伴うそう痒	自社	自社

<海外開発状況>

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
発売準備中	NM441 (フルリフロキサシン)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出： 柳韓洋行社(韓)
P III準備中					導出： リーズ・ファーマ社(香港)
P III	NS-304 (セレキシパグ)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	自社	導出： アクテリオン社(スイス)
P II	NS-187 (ハフェチニブ)	血液がん	B細胞性慢性リンパ性白血病 慢性骨髄性白血病(P II準備中)	自社	導出： サイトレックス社(米)
P I / II	NS-018	血液がん	骨髄線維症	自社	自社

(3) 製品開発状況・補足資料

申請中	
N S - 1 1 (アカンブ ロートカルシウム)	メルクセローノ社（スイス）から導入したアルコール依存症患者における断酒維持の補助剤で、既に欧米で発売済み。国内ではP III試験を終了し、平成24年3月に承認申請。
N S - 3 1 5 (トラマドール塩酸塩)	グリュネンタール社（独）から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100カ国以上で販売されている。非がん性慢性疼痛の効能追加について、平成24年9月に承認申請。
フェーズIII	
L Y 4 5 0 1 9 0 (タダラフィル)	前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤で、国内は日本イーライリリーがP III試験を実施中。
N S - 3 0 4 (海外) (セレキシパグ)	自社開発したプロドラッグ型経口剤で、活性代謝物が長時間血中に持続し、強力かつ選択性PGI ₂ アゴニスト活性を示す。肺高血圧症治療剤として、欧州医薬品局よりオーファン指定済み。導出先のアクテリオン社（スイス）が日本を除く全世界で肺動脈性肺高血圧症を対象としたP III試験を実施中。
N S - 2 4 (トラマドール塩酸塩)	パラディン社（旧ラボファーム社）（カナダ）より導入した経口持続性鎮痛剤でトラマドール塩酸塩の1日1回製剤である。海外では、中等度から中高度の痛みを適応として、すでに世界19カ国で発売されている。国内では、平成24年4月にがん疼痛および非がん性慢性疼痛を対象としたP III試験を開始した。
A C T - 0 6 4 9 9 2 (マシテンタン)	アクテリオン社より導入した肺動脈性肺高血圧症治療剤で、海外ではアクテリオン社がP III試験を終了し、平成24年10月に米国で承認申請。国内は、平成24年10月にアクテリオン・ジャパンと共同でP III試験を開始した。マシテンタンはアクテリオン社で創製された高活性の組織特異的エンドセリン受容体デュアルアンタゴニスト。
G A 1 0 1 (obinutuzumab)	中外製薬より導入したヒト化抗CD20モノクローナル抗体で、非ホジキンリンパ腫の治療薬としてリツキシマブと同様に、B細胞上のCD20を標的とする薬剤。国内では、中外製薬が平成20年10月より低悪性度および中高悪性度非ホジキンリンパ腫を予定効能・効果として開発を開始した。平成24年11月に中外製薬と共同開発・共同販売契約を締結し、共同開発を開始した。
フェーズII	
N S - 3 0 4 (国内) (セレキシパグ)	国内は、アクテリオン・ジャパンとの共同開発。肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象としたP II試験を実施中。
N S - 1 8 7 (バフェチニブ)	Bcr-Ab1チロシンキナーゼとLynチロシンキナーゼを強力に阻害、イマチニブ耐性にも奏効する。導出先のサイトレックス社（米国）が、B細胞性慢性リンパ性白血病を対象としたP II試験を実施中。また、慢性骨髄性白血病についてはP II試験を準備中。
N S - 1 4 1	自社開発した抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序の外用剤で、既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒に対しても効果が期待できる。アトピー性皮膚炎に伴うそう痒を対象としたP II a試験を終了し、次試験に向けて準備中。
フェーズI / II	
N S - 0 1 8	自社開発したJAK2チロシンキナーゼ阻害剤で、強力な阻害作用と活性型JAK2チロシンキナーゼに対する選択性が高いことから、有効性の向上と副作用の軽減が期待される。国内の患者数が少ないとから、海外での臨床試験を先行し、米国において骨髄線維症患者を対象としたP I / II試験を実施中。